

消費者と提携し地域農業を守る

下郷農協



2014

77 No. 639

November



守ろう私たちの食と農！ ～残そう家族農業～
をテーマに第58回農協まつりを開催

下郷農協まつり開催

代表理事組合長 矢崎 和 廣



第五十八回 農協まつり挨拶

十一月九日（日）、下郷小学校グラウンドで「守ろう私たちの食と農！〜残そう家族農業〜」を今年の祭テーマに掲げ、第五十八回の下郷農協まつりを開催しました。

今年もあいにくの雨模様となりましたが、組合員をはじめ多くの産直消費者や地域の方々の来場で、例年以上にぎわった気がします。

また雨の中、ステージでは

藤蔭高校吹奏楽部の皆様をはじめ、多くの方にご協力いただきました。毎年のことながら、会場設営から片付けまで、組合員と役職員一体となって頑張っている姿に、来賓の方々も感心してくださいませ。まつり開催にご協力いただきました関係者の皆様にご心から厚くお礼を申し上げます。

（組合長あいさつを全文紹介いたします。）

ご来場の皆さん、おはようございます。

第五十八回下郷農協まつりを開催するにあたり、主催者を代表して一言お礼の言葉を述べさせていただきます。

二年続きの雨で、関係者の

誰もが天気のことを一番心配していたと思いますが、今年もあいにくの天気となりました。

ただ、五十八回目となる下郷農協まつりが今年も無事に開催されますことを皆様方と喜び合いたいと思います。

併せて、これまで準備に奮闘されました組合員、関係者のみなさまに感謝申し上げます。

ありがとうございました。

また、今日は公私ともご多忙の中にも関わらず、中津市より中津市耶馬溪支所吉田支所長様、大分県北部振興局より農山漁村振興部朝久野主事様、中津市議会より草野議員・三上議員ほか産直消費者、地域の代表者、そして系統組織の方々など県内外から多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、誠に有り難く感謝申し上げます。

さて、私たちの生活や環境がいくらか厳しくなるのが、安倍政権の暴走が止まりません。

戦争する国へと向かう「集団的自衛権問題」や「名古屋市辺野古への新基地建設問題」、御嶽山の噴火で安全神話がさらに疑問の中で「川内原発の再稼働同意」、その上、お金を巡っては、復活した企業団体献金や税金の無駄遣いである二十年以上にも亘る憲法違反の政党助成金、それに今回の小渕前大臣に見られる信じられない「政治資金問題」、そういう中で「消費税増税問題」と挙げれば切りがないほど国民の願いや生活を無視した政治が進められています。そして、TPP問題については、日本を世界で最も企業活動の自由な国にするという安倍内閣は、TPPへの参加を前提に、農業・農村を企業のビジネスチャンスとするための「農政改革」に踏み出し、食料自給率が低い中で、食料を外国に依存する輸入自由化路線を改めようとはせず、規模の小さい農家を生産から締め出す政策を進めて

います。

まさに、全てが「アメリカ言いなり、大企業本位」の政治が進められています。

また、農政改革の大きな柱である「農協改革」では、T P Pの反対運動の先頭に立つ農協つぶしがその前提でありながら、その矢面に立たされている農協も「自己改革」と言いながら政府と闘おうとせず、落しどころを探っているのも事実です。こんなにかにされても来年四月の一斉選挙も「農協界はやはり自民党支持」という結果になるのかとも思います。

そのような中であって、今年の祭のテーマは『守ろう私たちの食と農―残そう家族農業』としました。

特に、「守ろう私たちの食と農」の農は農業だけに限らず「農政改革」にかかる農協や農業委員会等も含めた農の意味を込めています。

下郷農協は、今後も政府が

進める、農業の規模拡大と国際競争力よりも食料主権の見地に立った地域の資源と条件を生かした家族農業を基本に事業を推進し、その要求で一致する多くの消費者と提携して地域農業を守る運動を進めます。「食は命」を掲げる下郷農協が、食べ物を守り、そして農業を守り、農協を発展させていく事が地域のお役に立ち、地域を守っていきたい、という願いと決意を込めたテーマとしました。

農協まつりは、収穫を喜び、厳しい中でもみんな元氣を出して乗り越えようと開催されたのが始まりです。

私たちは、十月十二日の臨時総会で「信用事業譲渡」を決定し、新たな一步を踏み出しました。

先日、横浜銀行、そして昨日肥後銀行と鹿児島銀行の再編が決まっています。

ますます地域の金融は厳しくなります。

この自己改革は、全国で初めての取り組みであり、その点では不安な状況もあると思いますが、そのような厳しい金融情勢の中で、貯金はより安心な信連に見てもらおうことで、皆さんの力をお借りしながら、合併せず、下郷農協の柱である産直事業に力を注いで参ります。

亡くなられた奥組合長は「協同の原点」の中で、「合併により大農協になる事は、資本の奴隷になる危険に近く、そうなれば組合員のため下郷農協は無くなる」「組合員もまた、初心と言うか自らの手で自らを解放し、俺が農協を作っていく目的意識が無くなれば農協は最後である」と言っています。これからも「俺が農協」と言われるように頑張っていきます。

終わりになりますが、今年も農協女性部をはじめ各生産組織や産直消費者団体の安心・安全な農畜産物を使った

食堂やお店が沢山出店しています。ステージでのイベントもいろんな方々のご協力を頂き、お楽しみ頂けることと思います。毎年、経費を使った大きなまつりは出来ませんが、生産組合、農協役職員が日頃のご利用に感謝し、心を込めて準備したまつりになったと思います。今日一日はご来場の皆様の笑顔と笑いが絶えない一日になれば幸いです。

下郷農協は、これからも地域の皆さんと農協運動を通じ、下郷を守り発展するために頑張る決意を述べ、開会にあたっての挨拶とします。皆さん、今日はお時間が許す限り祭を楽しんでください。そして、生産組合をはじめ出店にご協力いただいた皆さん、関係者の皆さん、大変でしょうがどうか一日よろしくお願います。

これで挨拶を終わります。ありがとうございます。



体育館でオープニング演奏



日田市藤蔭高校の吹奏楽の演奏



敬老年金受給者代表
鷹崎義美さん (98歳)



おはやし



あげ神楽



あげ神楽



司会者をあげ神楽



溪扇会の坂田さん



溪扇会の吉原さんと溝渕さん



溪扇会の時増さん



溪扇会の増谷さん後藤さん中畑さん



下郷小学校3・4年生



下郷保育園児の黒ブタン



下郷保育園児の踊り



牛乳パックの帽子をかぶって挨拶



産直消費者のフラダンス



アグリキャツ



野菜出品抽選の当選者



祭を締めくくるもちまき



2等当選した玉麻さん



2等当選した宮下さん

第58回 下郷農協まつり 各生産組合・出店コーナー



からあげにはいつも行列



お肉を買い求める来場者



お肉販売



お食事処



健康米組合のモチ販売



黒豚部会のモツ煮込み



下郷小学校PTA



久留米の大地の会さん



自然薯販売の末国夫妻



女性部の食堂



新婦人大分支部さん



結農園さん



診療所のコーナー



出荷されたお野菜



出荷されたお野菜



新婦人日田支部さん



大分県農民連さん



俵あげも好評



産直の会・産直土の会



農産惣菜工場



冠地どりの炭火焼き



酪農組合



養鶏組合



有機野菜生産出荷組合

経済事業の維持・発展へ

組合員から積極的意見

上期決算状況や各部門の取り組みなどを報告

十月二十九日・三十日、各地区で今年度二回目の一斉集落常会が開催されました。

常会では農協から、上半期決算についての報告・説明と第五十八回下郷農協まつり開催について、各部署からのお知らせを行い、組合員から貴重な意見・要望が出されました。

今回の集落常会では、引き続き厳しい経営環境や農畜産物の生産低迷状況等により、多くの部門で事業計画未達となり、また、十月十二日開催の臨時総会で来年三月二十二日の信用事業譲渡に向けた各議案の承認を受け、今後は産直を中心とした経済事業を維持・発展させる事が最重要課題となることから、これまで以上に組合員から結びつき強い指導販売部門や購買部門をはじめ、生産から販売（営業）に対する多岐にわたる積極的な意見・要望や、これからの後継者対策、農協資本の増強策等についても、質問が出されま

した。

本稿ではこれらを中心に、組合員から出された意見・要望の一部を紹介しします。

個別に回答の必要な事案については、別途担当者より回答します。

なお、農協まつりに対する意見・要望については、実行委員会（十月三十一日開催）に報告するとともに、今後の取り組みに生かしていくこととしました。

（管理・総務に関する意見）

・新たに農協の資本強化の考えはないのか。広くアピールするところがあれば行つてはどうか。

・連絡員について、連絡員の高齢化により車のない人など大変になってきている。農協で連絡員の制度を考え直してはどうか。

・農協からのお知らせを時代の流れに沿って希望者にメール

で一斉配信したらいいのでは。特約店契約の石油店について、農協は利用のお願い（組合員割引）の周知ができていないのではないかと。また、もっと利用してもらうためにも店頭で値引き額や口座引落の利用申し込み案内等、わかりやすく提示してはどうか。

（購買部門に関する意見）

・購買商品のバリエーションを増やしたらどうか。

・購買利用の送迎はいつでも対応してくれるのか。

・ギフトカタログを早めにはしい。他社は制作が早く、今はおせち料理案内が来ている。

・購買の配列は昔に比べて買い物しにくい。キャラクターものなどは農協には必要ないと思う。長靴のサイズがそろわない。長靴の仕入れ業者がかわつたのか、ゴムの質が悪くなった。洋服ももっと作業服を置いてほしい。女性用の服などはカタログ販売でいいのでは。

（指導・販売部門に関する意見）

・野菜をせっかく作つても種類によっては出荷ストッパーがかかる。作る意欲をなくしてしまふ。販売強化をしてほしい。米の価格がこんなに安くなつ

たら、米を作る人が減るのではないか。

・粉もの・きなこ・乾椎茸などの袋詰め作業を委託したらどうか。職員が減っているなら委託するほうが効率が良いはず。

（その他部門に関する意見）

・ぎょうざにタレが付いているといいと思う。ギフトはおなじものが四パックも入っているの、バジル入りのぎょうざとか、味噌入りぎょうざとか、少し趣向を凝らしたものをセツトにしたらいいいのでは。

・農協新聞にもっと指導販売部の情報を回覧ではなく掲載してほしい。米検査の結果を昨年比で十一月号に掲載してほしい。

・農協で作ってもらう合わせ味噌は、市販品と違い美味しい。



山浦集落の常会の様子

「律儀」「先見性」そして「民意を汲み上げた」名将

インターネットで「律儀」という言葉を検索してみたら、おもしろいQ&Aを見つけました。Q「人に律儀ですね！と言われたら良い事と思うべきですか？悪い事と思うべきですか？律儀ってきちんとしているとも取れるけど、固いとか、そこまでしなくてもとも取られると思うんですが、実際どうですか？」A「義理堅い人間が一番他人から信頼・信用されると思いますよ。多少固い人間だと思われても是非今のままで！」といった主旨のやり取りでした。



一ツ戸城の「正面口」といわれる石段跡

一ツ戸城主は、隣の長岩城主・野仲鎮兼氏とともに大友義鎮（後の「宗麟」）と戦ったこともあるようです。長岩城の野仲鎮兼氏は大友宗麟に降ったり、叛いたりしながら、この地方における反大友の中心となっていくのですが、隣の一ツ戸城では「むねたね氏」が城主となつてからは大友氏に叛きません。まったくブレないのです。天正六年（一五七八）、大友宗麟は日向「耳川の戦い」で薩摩の島津義久に大敗し、これを境に衰退していきます。代わって島津氏が九州制覇をめざして強大な勢力となり、各地の諸豪（国人）たちが次々と大友氏から離れていくのですが、「むねたね氏」は大友氏から離れません。このブレない姿勢こそが、後に黒田官兵衛孝高（如水）が「むねたね氏」に對して、絶対的な信頼を寄せる鍵となっていくのです。

次に「先見性」です。「むねたね氏」は、戦国乱世といわれた時代代のすう勢をあまりにも的確に見極めて動いていると思われれるのです。大分県中津下毛地方振興局（一九九四年）発行『中津下毛地域の歴史』に宇都宮潮治氏（耶馬溪町文化財調査委員長）の「郷土の歴史観光（耶馬溪の自然と人情を残そ

う）」と題した講演内容が掲載されています。この中で宇都宮潮治氏は「長岩城は、（黒田氏と）徹底的に戦い、残ったものは腹を切つて死にます。それに比べてこの一ツ戸城主中摩六郎右工門統胤は、やはり日田とかに通じていたためでしょう、賢明でした。」と述べています。私も宇都宮潮治氏に同感です。前号で述べた通り、一ツ戸城は豊前のはずれの山中にありながら豊後・筑前・日田・筑後等の国境に近く、さらに英彦山修験道の東の結界であることも含めて、様々な文化が重なりあう地理的条件を備えていたと思われるます。「むねたね氏」はこの有利な条件を巧みに利用し、独自の情報網も張りめぐらせ、世の中の流れを柔軟かつ的確にとらえていたのではないのでしょうか。私にはそう思えてなりません。そして「民意を汲み上げた」ことは以前に述べた通りです。「黒田につくべきか、否か、百人余りの家臣全員の入札（投票）で決めた」ことです。あの時代に民主的手段という概念があったのでしょうか。

ここまで「むねたね氏」を『名将』と呼ぶにふさわしい人とした理由を述べてきました。私は「勝つたほうが正義」とする考え方に属していません。どちらかというところ「負けたほうが好ましく、この「むねたね氏」に關していえば、郷土の誇るべき偉人として、これからも広く紹介していきたいのです。貝原益軒編『黒田家譜』には、黒田につくべきか、否か、の入札・決断にいたる「むねたね氏」の心中が記されています。「黒田孝高に降参せば、本領を失ふのみならず、身を失はんもしらず、然ども孝高は聞ゆる武将なれば、降参せずば我家のほろびん事必定なるべし」とされてい、「黒田官兵衛への降参は、城主の切腹が条件になることもあり得る」という覚悟の上で「一ツ戸城・中間家存亡をかけた重大な決断」をしたのだと、私には思えるのです。



パンフレットに続き、冊子も発行されました

高齢者肺炎球菌予防接種

個人負担2,000円

市役所から対象者には通知が届いています

インフルエンザ予防接種

実施中

(要予約 56-2361 下郷診療所)

自己負担額

65才以上の方	1,000円
13才以上65才未満	3,600円
13才未満	
1回目、2回目各	2,000円

大分県よりお知らせ

「農業就職ガイダンス・農業法人合同就職相談会」が開催されます。

●農業法人等に雇用されて働いてみたい方が対象です。

●ガイダンスでは、農業法人で雇用されて働いている先輩就農者の方の講演があり、農業について理解を深めることができます。

●相談会には法人二十社がブースを出展予定で、企業担当者と直接話をする事ができます。

●主催…大分県農業会議、大分県後援…公益社団法人大分県農業農村振興公社、厚生労働省大分労働局

●日時…十二月六日十一時～十六時

●ガイダンス…十一時～十二時
相談会…十一時～十六時

●場所…コンパルホール

●ガイダンス…多目的ホール(大分市)
要事前申込/相談会
申込不要

●詳しくは大分県農業会議(電話…〇九七一五三二一四三三五)までお問い合わせ下さい。

●ホームページ

http://www.agri-oita.net/noukai/
「大分県雇用改善」で検索
(356文字)

休日利用し職員栽培



大分県のJA下郷は、JA職員を中心に構成する麦部会が栽培した小麦を使った「耶馬溪乾餛飩(うどん)」の販売を始めた。職員らが休日を利用して栽培・収穫した「チクゴイズミ」を原料に、添加物を一切使わず、もっちりとした食感に仕上げた。JAでは、同様の小麦を使った「冷凍の耶馬溪餛飩」や「耶馬溪素麺(そうめん)」に続く、新たなJA特産の小麦加工品として期待を寄せる。

地場産小麦 100%うどん

大分・JA下郷 乾麺を発売

「耶馬溪乾餛飩」は、250g、340円、JAの直売所「ふれあいの店」で販売している。ホームページでの通販も行い、ギフト商品としても取り扱う。問い合わせはJA企画部、フリーダイヤル(0120)562299。(大分・下郷)

新登場の「耶馬溪乾餛飩」

二〇一四年十一月十五日付日本農業新聞の掲載記事です

組合員の皆様、日本農業新聞を購読してませんか。
一ヶ月二、六三三円。
ご希望の方は、ふれあいの店までご連絡。



左の記事はJA全中のホームページ内の「JA歳時記」にも掲載されています。

理事会だより

十月二十八日、第七回定例理事会を開催しましたので、議案および協議内容の一部概要をお知らせします。

報告事項..臨時総会開催結果について

理事協議会の開催について

上半期内部監査実施計画について

J A 共済コンプライアンス点検結果および改善方針の概要について

よび改善方針の概要について

第一号議案..九月決算承認の件について

第二号議案..財務改善計画について

第三号議案..その他

・報告事項の臨時総会開催結果については、十月十二日(日)九時から下郷小学校体育館で開催された、信用事業譲渡に係る臨時総会の組合員出席状況等について概要を報告、その後の事務手続きとして農協法に基づき債権者に対する「信用事業譲渡公告」を十月十五日に大分合同新聞に掲載した事などが報告されました。
上半期内部監査実施計画については、六月～九月

に実施した不祥事未然防止に関する内部監査内容を、内部監査規程に基づき理事会へ報告がありました。

J A 共済コンプライアンス点検結果および改善方針の概要については、平成二十六年年度のJ A 共済コンプライアンス点検項目(十一項目)を七月三十一日を点検基準日として実施、それぞれ適正に処理され改善が必要な事項はなかった事が報告されました。

・第一号議案の九月決算承認の件については、事業利益△二、四六七千円の計画に対し△三、三〇二千円で八三五千円の未達成となりました。事業利益は計画対比で、収益部門のうち食肉二、四七六千円・共済一、五八六千円・信用一、三四九千円等が達成、五、五二五千円事業利益計上の牛乳二、二二九千円・販売二、〇一六千円・惣菜一、二〇九千円・購買七八九千円・農産五九二千円等が未達成となりました。

・第二号議案の財務改善計画については、農協法に定める自己資本の基準を満たしていないとして行政府より改善計画書の提出を求められたことから作成し、理事会の承認を受けました。

清水先生の

「食の安心」について

一言 117

の記事は先生がご多忙のためお休みさせていただきま

「おれあいの店」より

中津市元気創出プレミアム商品券、青も赤もご利用できます。

直通 Tel.0979-56-2225

お願い

ガソリン代、新聞代、ガス代等を通帳より自動引き落としされている方は、残高不足で引き落とし不能にならないようご注意ください。

お便り募集!!

中津市耶馬溪町

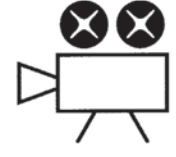
大字大島二一五一四

下郷農協 農協新聞係宛

またはメールで、

masutani@simogonokyou.or.jp

およそ半世紀前、下郷には映画館がありました。



第2回
下郷映画祭
&
Organic Market

(前売り券 金融窓口で販売中)

2014 12/7(日)

農産工場より

味噌加工承ります。

(お問い合わせ)

109-2222

午後横山(真)まで

年賀状も販売中

飲酒運転は絶対に
やめましょう
のんだらのるな
のむならのるな



映画鑑賞券
前売り券 1500円
当日券 1800円
中学生 500円 (学生証をご提示下さい)
小学生以下 無料
※何本見ても同じ料金です。
上映会場の下郷公民館2F 以外は入場無料

読者プレゼント

クイズの正解者の中から抽選で一名、下郷農協の商品をプレゼントいたします。ふるってご応募ください。当選者のお名前は次号で発表させていただきます。

応募締切は二〇一四年十二月十日(必着)です。

- クイズのこたえ の数字
 - 住所・氏名・電話番号
 - 下郷農協へのご意見ご要望
 - 下郷農協の商品で好きなもの以上をご記入の上、ハガキの方は
〒八七一一〇四三一
大分県中津市耶馬溪町大字大島二一五一四
下郷農協 企画部 宛
Faxの方は
〇九九一五六一二八八九
- *個人情報他社への開示は一切しませんが当選者のみ紙面で公表させていただきます。

先月のこたえ

- (A)・7 (B)・5 (C)・6

当選者

耶馬溪町 坂田智恵美 様

農協商品をお届けします。おめでとございます。

数独 (すうどく)

200

《数独のルール》
①タテ9列、ヨコ9列のそれぞれに1から9までの数字が1つずつ入ります。
②太線で囲まれた3×3のブロック内(マスは9つ)にも1から9までの数字が1つずつ入ります。
③従って、タテ、ヨコ、ブロック内で、同じ数字が重複して入ることはありません。

解答は次号で

2	9		1	5	7			
	7			3	1			
			4	8			3	
		1				2		
8		9		5				
	5			8	6		3	
						4	6	
				4			8	

《先月の解答》

5	4	2	3	1	9	8	7	6
3	9	7	6	8	4	1	2	5
6	1	8	2	7	5	9	3	4
7	5	6	8	9	2	3	4	1
8	3	1	7	4	6	2	5	9
4	2	9	1	5	3	7	6	8
2	8	4	9	6	7	5	1	3
1	7	5	4	3	8	6	9	2
9	6	3	5	2	1	4	8	7